

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】令和 1 年 9 月 12 日 (2019.9.12)

【公開番号】特開 2018-44066 (P2018-44066A)

【公開日】平成 30 年 3 月 22 日 (2018.3.22)

【年通号数】公開・登録公報 2018-011

【出願番号】特願 2016-179614 (P2016-179614)

【国際特許分類】

C 0 9 J 7/20 (2018.01)

C 0 9 J 133/04 (2006.01)

C 0 9 J 123/04 (2006.01)

C 0 9 J 11/06 (2006.01)

【F I】

C 0 9 J 7/02 Z

C 0 9 J 7/02

C 0 9 J 133/04

C 0 9 J 123/04

C 0 9 J 11/06

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 8 月 1 日 (2019.8.1)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

(a) シート基材と、

(b) 該シート基材の一方の面上に形成された接着層と、

を備える再湿型接着シートであって、

前記シート基材が紙材料を含み、

前記接着層が、

(b-1) 酢酸ビニル樹脂及びエチレン - 酢酸ビニル樹脂からなる群から選択される少なくとも一を含む接着剤と、

(b-2) 1 分子内に炭素原子を 4 以上で水酸基を 3 以上有する化合物 A、及び 1 分子内に炭素原子を 7 以上で水酸基を 2 有する化合物 B からなる群から選択される少なくとも一の化合物と、を含むことを特徴とする再湿型接着シート。

【請求項 2】

さらに、前記接着層が形成されている面とは反対側の面上にインク受容層を備えることを特徴とする、請求項 1 に記載の再湿型接着シート。

【請求項 3】

前記化合物 A および前記化合物 B の分子量が 600 以下であることを特徴とする、請求項 1 または 2 に記載の再湿型接着シート。

【請求項 4】

前記化合物 A が、トリメチロールプロパンおよびトリメチロールエタンからなる群から選択される一以上の化合物であることを特徴とする、請求項 1 ~ 3 のいずれか一項に記載の再湿型接着シート。

【請求項 5】

前記化合物 B がポリエチレングリコールであることを特徴とする、請求項 1 ~ 4 のいずれか一項に記載の再湿型接着シート。

【請求項 6】

請求項 1 ~ 5 のいずれか一項に記載の再湿型接着シートの面のうち、前記接着層が形成されている面とは反対側の面を記録面として、該記録面上に画像が形成されていることを特徴とする、記録シート。

【請求項 7】

請求項 6 に記載の記録シートが対象物に貼付された記録対象物。

【請求項 8】

請求項 1 ~ 5 のいずれか一項に記載の再湿型接着シートの面のうち、前記接着層が形成されている面とは反対側の面を記録面として、該記録面上に画像を印刷記録する工程を含むことを特徴とする、請求項 6 に記載の記録シートの作製方法。

【請求項 9】

請求項 6 に記載の記録シートの接着層に水を塗布する工程と、
前記水を塗布された記録シートを対象物に貼付する工程と、
を含むことを特徴とする、請求項 7 に記載の記録対象物の作製方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

本発明の第一の態様は、

(a) シート基材と、

(b) 該シート基材の一方の面上に形成された接着層と、

を備える再湿型接着シートであって、

前記シート基材が紙材料を含み、

前記接着層が、

(b-1) 酢酸ビニル樹脂及びエチレン - 酢酸ビニル樹脂からなる群から選択される少なくとも一を含む接着剤と、

(b-2) 1 分子内に炭素原子を 4 以上で水酸基を 3 以上有する化合物 A、及び 1 分子内に炭素原子を 7 以上で水酸基を 2 有する化合物 B からなる群から選択される少なくとも一の化合物と、

を含むことを特徴とする再湿型接着シートである。